

インカレミドルを制したのは男子・福井（東京大学）、女子・宮川（立教大学）。春インカレでは東大OLKのパワー爆発！

2016年3月12日(土) 栃木県塩谷町
2015年度日本学生オリエンテーリング選手権大会ミドルディスタンス競技部門

女子

- | | | | |
|---|-------|---------|--------|
| 1 | 宮川早穂 | 0:35:05 | 立教大学 4 |
| 2 | 守屋舞香 | 0:35:31 | 椛山女大 4 |
| 3 | 五味あずさ | 0:37:25 | 金沢大学 4 |
| 4 | 松田沙也加 | 0:38:03 | 岩手大学 4 |
| 5 | 伊東瑠実子 | 0:39:45 | 東京大学 4 |
| 6 | 山岸夏希 | 0:41:50 | 筑波大学 1 |

男子

- | | | | |
|---|-------|---------|--------|
| 1 | 福井悠太 | 0:37:32 | 東京大学 4 |
| 2 | 戸上直哉 | 0:37:34 | 東京工業 4 |
| 3 | 稲森 剛 | 0:38:27 | 横浜国立 1 |
| 4 | 石山良太 | 0:38:31 | 名古屋大 3 |
| 5 | 糸井川壮大 | 0:38:34 | 京都大学 4 |
| 6 | 田中基士 | 0:38:37 | 横浜市大 4 |



宮川早穂（立教大学4）
最終コントロール付近のゲキサカ登り

上級生が活躍したミドル

入賞者の顔ぶれを見ると、上級生が多いことに気付く。同じオリエンテーリング種目の中でも、ミドルディスタンスは技術力の違いが結果に表れやすい種目だけに、場数をこなしてきた上級生の結果が良い。

そんな中でも目立つのは、昨年秋に男子のインカレロングとインカレスプリントを1年生ながら制した稲森が3位を獲得している。また女子では経験者の山岸が1年生ながら6位入賞を果たしている。年度が替わればもう4年生はいない。インカレの勢力図ががらりと書き換わるに違いない。

（木村佳司）



戸上直哉（東京工業大学）
この最終コントロールまではトップだったゲキサカはいろんなドラマを作る。

福井、秒差を制す

インカレミドル男子は2秒差で勝負がついた。最終ランナーだった戸上（東京工業大学）が最終コントロールで福井（東京大学）を1秒上回ったが、そこからフィニッシュまでの間で福井のタイムに2秒届かず2位となった。この時点で福井は優勝が確定した。

最終コントロールは高台にある会場を目指す沢の途中にあった。激坂を登り詰め一気に大歓声の会場を駆け抜ける。最後にどれだけ足が残っているか、大声援がどれだけ選手を押してくれるか、これが問われた勝負となった。

宮川・有終の美を飾る

インカレミドル女子は宮川が有終の美を飾った。大学1年生のときから活躍してきた宮川も4年生でこれが最後のインカレとなった。大学2年生のときにミドルで優勝しているが、それ以降はライバルの後塵を拝してきた。今回も強力なライバルがひしめく中、速さとミス率の低さをともに兼ね備え、見事優勝を飾った。



福井悠太（東京大学4）最終コントロール